

憲 法

・解答上の注意

1. 問題文は1枚、解答用紙は2枚（各問について1枚）、下書き用紙は1枚です。
2. すべての解答用紙に、一橋大学の受験番号を記入してください。氏名は絶対に記入しないでください。
3. 第1問、第2問とも解答してください。第1問と第2問の配点比率は、1：1です。
4. 解答用紙は、第1問用と、第2問用とが異なります。それぞれ正しい用紙に解答してください。
5. 解答は横書きにして、1問につき1枚の解答用紙に収めてください。解答用紙の追加、交換はしません。解答用紙は、白紙である場合も含め、すべて提出してください。
6. 問題の内容についての質問には、応じません。
7. 貸与した六法に、書き込みをしてはいけません。
8. 試験終了後、問題文と下書き用紙は、持ち帰ってください。

第1問

以下の事例に含まれる憲法上の論点を摘示し、それについて論じなさい。

Yは国立の薬物中毒者の更生施設である。XはYに事務職員として雇用されていた。Xは、神秘的なA教団の熱心な信者であったが、A教団においては宗教的儀式の際に、儀式の参加者は、微量ではあるが、麻薬Pを服用することになっていた。麻薬Pは、医師の処方箋による場合を除いて、所持、服用することが法律によって禁止されていた。Xは、A教団の信者であること、過去に10回以上教団の宗教的儀式の際に違法にPを服用していたことが発覚し、法令等に定める手続を経て、懲戒免職処分とされた。懲戒手続の過程でXが説明を求めたところ、Yの所長からは、「今回の処分はあなたの信仰を理由とするものではなく、あなたが違法な麻薬Pを服用したことが原因であり、あなたはYの職員としてふさわしくない行為をなし懲戒免職処分となった」との説明がなされた。

第2問

地方自治法（80条以下等）が定める議員・長の解職請求に関する規定（それ以外の直接請求に関する規定については考慮しなくてよい）を削除する立法の合憲性について、国会議員の解職請求制度を内容とする立法を行う場合と対比しつつ、論じなさい。